



2024年10月2日

シーティディーネットワークス株式会社

自動車運搬船向け煙検知・温度急上昇検知・炎検知システム

「HEAT SHIFT™ Fire and Smoke Watcher for Vehicle Carrier」を

自動車船「POSITIVE CHALLENGER」に納入、

当該本船は日本海事協会から AFVC 認証を取得しました

シーティディーネットワークス株式会社（東京都中央区、以下 CTD）は、自動車運搬船向け煙検知・温度急上昇検知・炎検知システム「HEAT SHIFT™ Fire and Smoke Watcher for Vehicle Carrier ※1」（以下、HEAT SHIFT™ Fire Smoke for VC）を、イースタン・カーライナー株式会社（東京都品川区）が運航し、ECL シップマネージメント株式会社（同）が管理する 4000 台積み自動車船「POSITIVE CHALLENGER」に納入し、当該本船は日本海事協会（NK）から「電気自動車（EV）の海上輸送のための追加火災安全対策が講じられた船舶である事を示す認証」「AFVC（Additional Fire-Fighting measures for Vehicle Carrier）」を取得しました。

弊社の「HEAT SHIFT™ Fire Smoke for VC」は、最新の AI 画像解析技術を駆使、弊社のシステムインテグレーションと厳しいテストプロセスにより、従来の AI カメラや既存の煙検知設備では検知が難しかった「火災初期の僅かな煙に対しても早期の煙探知を実現」するだけでなく、「煙発生前の異常な温度急上昇（任意に単位時間と温度範囲を設定可）」、さらには「発炎」も検知し、これら全ての事象に対して速やかな検知発報動作をシンプルなシステム構成と運用フローで行う事により、従来の AI カメラによる煙検知設備や、煙検知設備のみのシステム構成と比して、現場の負担を最小限に抑えた、より速やかな火災の早期発見が可能となり、万が一の火災発生時の初期消火の有効性を高め、乗組員と貨物の安全性を大きく高める事ができます。

近年、航行中の自動車運搬船における EV 車に搭載されている Li イオンバッテリー等が起因と考えられる火災事故が世界で頻発しており、弊社が提供する「自動車運搬船向け煙検知・温度急上昇検知・炎検知システム」（HEAT SHIFT™ Fire Smoke for VC）は、こうした課題に直面する船舶運航現場に対して強力なバックアップツールとなります。

当社は今後も、最新の AIoT 技術と、既存の情報通信技術を融合させる事で当社独自のソリューションの開発と提供を通じ、世界と社会における課題解決に取り組んでいきたいと考えております。

※1 特許出願中

【本件に関する問い合わせ先】

シーティディーネットワークス株式会社

ネットワークシステム営業グループ

TEL : 03-5644-0911 e-mail : ctdinfo@ctd.co.jp